

# 長野建設新聞

発行所 日本工業経済新聞社 第6081号

長野支局 長野市小柴見18 TEL026-227-4494 FAX026-227-9270

松本支局 松本市白坂2-3-30 TEL0263-38-1131 FAX0263-38-1135

URL <http://www.nikoukei.co.jp> E-mail [nagano@ns.nikoukei.co.jp](mailto:nagano@ns.nikoukei.co.jp)

©日本工業経済新聞社 毎週水・金・土曜日発行 定価3箇月13,230円(税込)



## 三次元測量機に生徒感動

### G I S協会 地理空間情報技術者第1回育成講義

NPO法人長野県GIS協会(増沢延男会長)は14日、長野高専技術振興会事業の地理空間情報技術者育成講義を開催した。第1回目となるこの日は、長野工業高等専門学校(以下、長専)の4年生を対象としたもので、(株)みすず総合コンサルタントの高藤亨仁常務取締役が講師を務め、最新型の三次元測量機器「3Dスキャナー」を使用しての実技指導を行った。

高藤常務はまず、3Dスキャナーで、多様な角度から教室内の測量を瞬時に行ってみせ、その結果をパソコン上に映し出した。三次元化して浮き上がる映像に生徒たちは、ため息とともに「すごい」を連発しながら、「あれ〇〇君が手振ってる」などと感動しながらディスプレイを見入っていた。

高藤常務は「測量といえば、誰よりも先に危険箇所に入って作業しなければならなかったが、機器の進化とともに安全な場所で、三次元で好きなように計測が可能となった」としたものの、「山中へ機器を担いで入るための体力は必要です。今のうちに鍛えておいてください」とユーモアを交えながら説明した。

さらに、新潟地震における災害や白馬大雪渓の赤岩撤去時のデータなどを披露し、「このように簡単に現



三次元映像に興奮する生徒たち

場で観測できるが、何よりも測量の基礎が大切。テキストをしっかりと学んでもらえば、どんな新型機種が出てもすぐ対応できる」などと基本の大切さを述べた。「その測量機はいくらするんですか」と投げかけられた質問に、高藤常務は「2000万円くらいかな」と返答。生徒は複雑な表情でうなづいていた。



高藤亨仁常務

また、同社の橋元宣明GIS事業部開発リーダーは「身近になったカーナビは地図として利用されるが、測量業者のソフトは地形を解析する。例えば、落石した石が何処に転がるのか。氾濫した水は何処を通過して、どの範囲で、何処まで行くのかを解析して予測できる」と話し、「これからの測量業界は地理情報空間技術者が求められるため、GISの基礎を学ぶ必要がある」と就職活動の一環にとアドバイスを送った。

